

中間決算の概要

2006年9月中間期

2006年10月



住金物産株式会社

2006年9月中間期決算の概要 目次

1. 当中間決算のポイント	2
2. 連結損益計算書	3
3. 連結セグメント情報	4
4. 連結特別損益の内訳	5
5. 連結財政状態	6
6. 連結キャッシュフローの状況	7
7. 関係会社の状況	8
8. 通期の連結業績について	9 ~ 10
9. 06年9月中間期のトピックス	11 ~ 12
10. 諸数値の推移	13

* 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 2006年9月 中間決算のポイント

増収増益(営業利益は5期連続、経常利益・当期純利益は6期連続過去最高を更新)

連結有利子負債は1,000億円を下回る。(06年9月末998億円)

中間配当(4円)を実施

加工メーカー型機能強化のための事業投資を実施

2. 連結損益計算書

(単位：億円)

	06年9月期	05年9月期	増減額	増減率
売上高	5,734	5,366	368	6.9%
売上総利益率	5.9%	6.3%	0.4%	
売上総利益	339	336	2	0.8%
販売管理費	245	265	20	7.6%
営業利益率	1.6%	1.3%	0.3%	
営業利益	93	70	22	32.3%
営業外損益	10	2	8	
経常利益率	1.5%	1.3%	0.2%	
経常利益	82	68	14	20.8%
特別損益	1	57	55	
法人税等	33	5	38	
当期純利益	47	15	31	199.8%

増収増益（営業利益は5期連続、経常利益・当期純利益は6期連続過去最高を更新）
は中間期での過去最高を示す

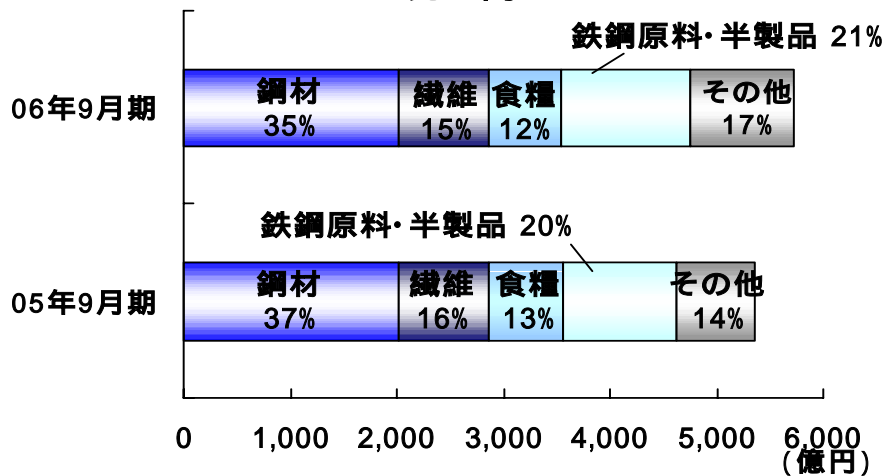
3. 連結セグメント情報

(単位：億円)

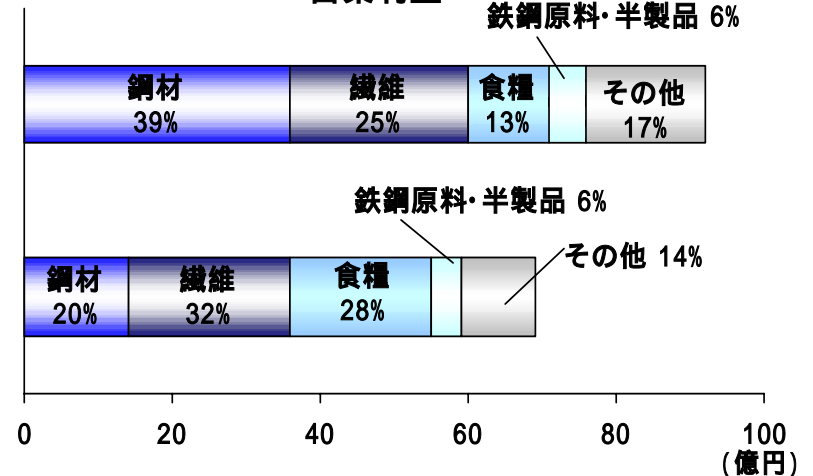
	06年9月期		05年9月期		増減額		増減率	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鋼材部門	2,027	36	2,015	14	12	22	1%	157%
繊維部門	842	24	846	22	4	1	0%	6%
食糧部門	675	11	696	19	21	7	3%	40%
鉄鋼原料・半製品	1,207	5	1,059	4	147	1	14%	28%
その他事業(注1)	982	16	747	10	234	6	31%	60%
計	5,734	93	5,366	70	368	22	7%	32%

注1. その他事業...機械、建設、非鉄金属他

売上高



営業利益



4. 連結特別損益の内訳

(単位：億円)

		06年9月中間期	05年9月中間期
	固定資産売却益	0	0
	投資有価証券等売却益	0	5
	貸倒引当金戻入益	-	0
特別利益計		0	7
	固定資産売却損	-	43
	減損損失	0	10
	投資有価証券等売却損・評価損	1	9
	債務保証損失引当金繰入損	-	1
特別損失計		2	65
差 引		1	57

特別損失が大幅に減少

5. 連結財政状態

	06年9月末	06年3月末	増減額	増減率
流動資産	3,533	3,379	153	4.6%
有形・無形固定資産	262	241	20	8.5%
投資その他	385	400	15	3.9%
資産合計	4,180	4,021	158	3.9%
有利子負債	998	1,016	18	1.8%
その他負債	2,881	2,740	141	5.2%
負債合計	3,879	3,756	123	3.3%
少数株主持分	-	15		
資本金	80	80		
資本剰余金	28	28		
利益剰余金	133	93		
自己株式	0	0		
評価・換算差額等	46	49		
少数株主持分	13			
純資産合計	300	250		
負債及び純資産合計	4,180	4,021	158	3.9%
自己資本比率	6.9%	6.2%	0.7%	
NET DER	3.0倍	3.6倍		

*NET DER = (有利子負債 - 現預金) / 自己資本

自己資本 = 純資産 - 少数株主持分

有利子負債は1,000億円を下回る。(1,016億円 998億円) 有利子負債の比(96年3月末)2,735億円
純資産は、300億円に。自己資本比率、NET DERは好転。

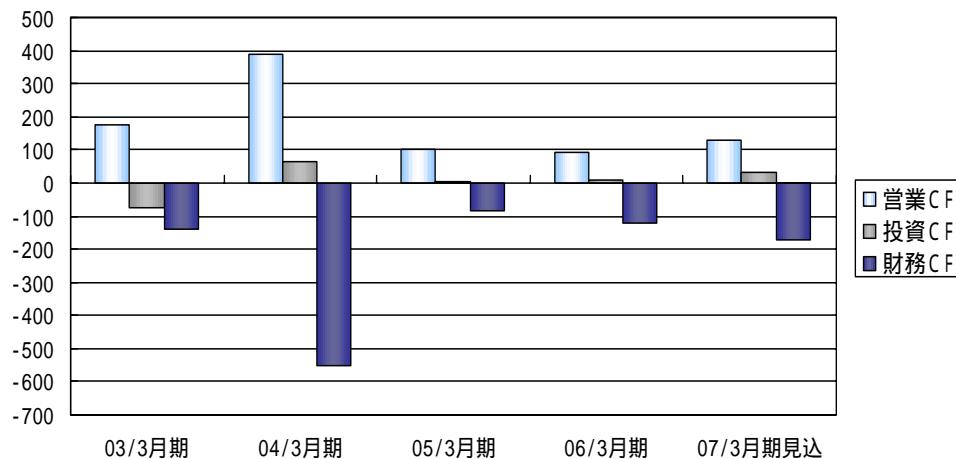
6. 連結キャッシュフローの状況

	06年9月中間期	05年9月中間期	増減額
営業活動によるCF	68	26	42
投資活動によるCF	23	7	31
フリーCF	44	33	11
財務活動によるCF	35	54	19
現金及び現金同等物の増減	8	20	29

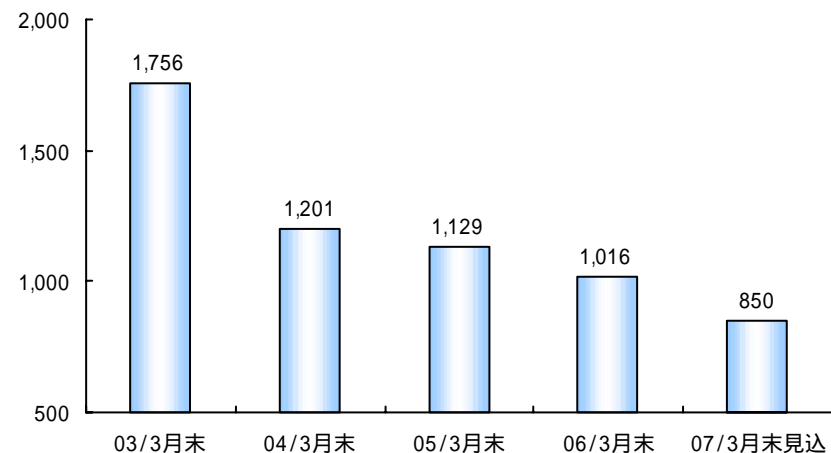
(単位：億円)

07年3月期見込
130
30
160
170
10

(億円) 過去5年間の連結キャッシュフロー



(億円) 有利子負債残高推移



7. 関係会社の状況

連結対象会社数

	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期
黒字会社数	35	37	37	37
赤字会社数	18	15	11	14
計	53	52	48	51

黒字会社比率	66%	71%	77%	73%
--------	-----	-----	-----	-----

損益 (単位: 億円)

	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期
黒字額	13	24	37	45
赤字額	9	17	19	52
NET損益	4	7	18	7

05年9月期	06年9月期
37	40
13	14
50	54

74%	74%
-----	-----

(単位: 億円)

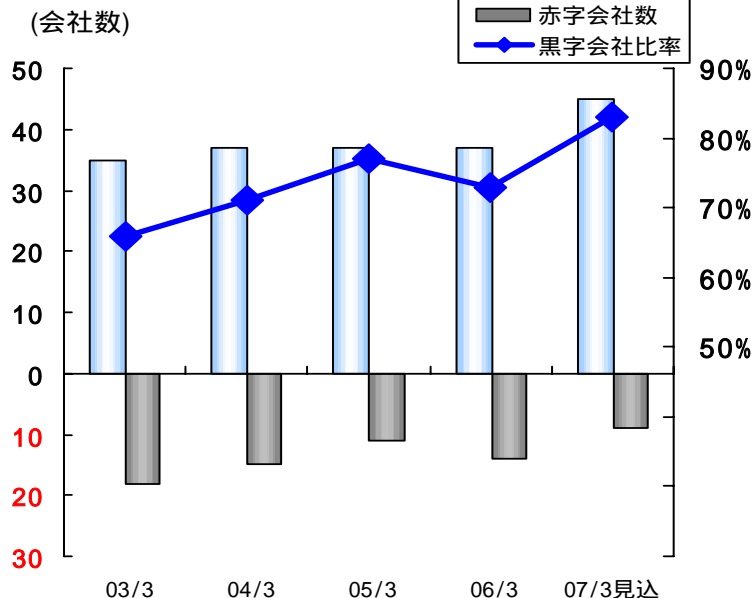
05年9月期	06年9月期
25	19
45	3
20	16

07年3月期見込
45
9
54

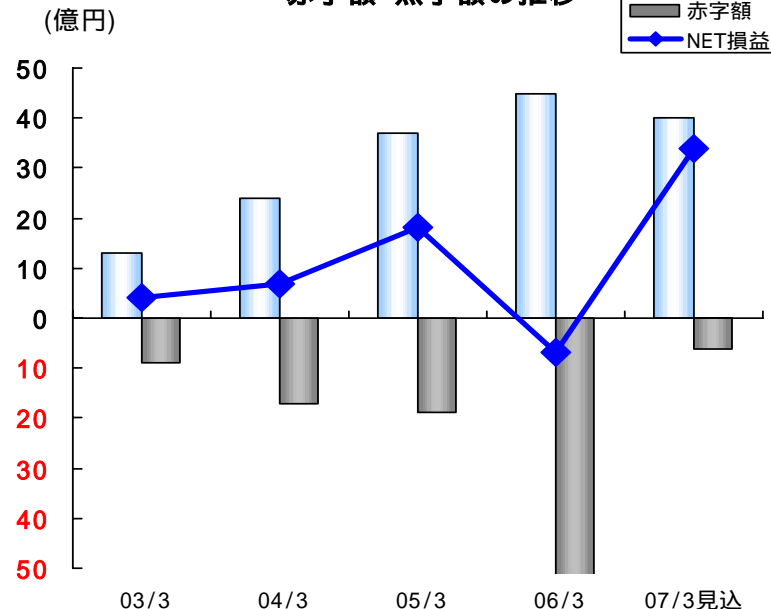
83%

07年3月期見込
40
6
34

会社数の推移



赤字額・黒字額の推移



8. 通期の連結業績について

連結損益計算書

(単位：億円)

	07年3月期予想	06年3月期実績	増減額	増減率
売上高	11,500	11,142	357	3.2%
営業利益	185	152	32	21.1%
経常利益	160	140	19	14.3%
当期純利益	85	60	24	40.7%

3カ年計画 09年3月期
12,100
210
180
100

通期の営業利益、経常利益、当期純利益は過去最高を更新する見込み。

セグメント情報

(単位：億円)

	07年3月期予想		06年3月期実績		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鋼材部門	4,250	70	4,088	39	161	30
繊維部門	1,700	51	1,764	44	64	6
食糧部門	1,370	24	1,346	32	23	8
鉄鋼原料・半製品	2,400	10	2,223	8	176	1
その他事業	1,780	30	1,718	26	61	3
計	11,500	185	11,142	152	357	32

3カ年計画 09年3月期	
売上高	営業利益
4,500	74
2,000	56
1,650	42
2,250	8
1,700	30
12,100	210

注 その他事業...機械、建設、非鉄金属

8. 通期の連結業績について

連結財政状況

	07年3月末予想	06年3月末実績	増減額	増減率
総資産	4,200	4,021	178	4.4%
有利子負債	850	1,016	166	16.3%
純資産	330	250	80	32.0%
自己資本比率	7.5%	6.2%	1.3%	
NET DER	2.4倍	3.6倍	-	
ROA	4.4%	3.8%	0.6%	

3カ年計画 09年3月期
4,000
750
450
10%超
1.5倍程度
5%超

(注)06/3末純資産は資本の部合計

*NET DER = (有利子負債 - 現預金) / 自己資本

自己資本 = 純資産 - 少数株主持分

*ROA = 営業利益 / 総資産

キャッシュフロー

(単位：億円)

	07年3月期予想	06年3月期実績	増減額
営業活動によるCF	130	94	36
投資活動によるCF	30	11	19
フリーCF	160	105	55
財務活動によるCF	170	121	49
現金及び現金同等物の増減	10	14	4

9.06年9月中間期のトピックス

鉄鋼カンパニー

1) 鋼板加工事業の強化・拡充

- ・国内では「住金物産コイルセンター(株)」での設備増強、住友金属工業(株)が設立、直営する「エスエスシー北関東(株)」への出資(4月)、さらに「住金物産関東コイルセンター(株)」を設立(6月)いたしました。
- ・海外では中国の「東莞住金物産金属制品有限公司」での設備増強、米国の「KENTUCKY STEEL CENTER, INC.」では第二工場建設に着手するなど国内外でコイルセンター事業の強化、拡大を推進中であります。

2) 住宅建材分野の強化

- 住友金属工業(株)製軽量H形鋼のハウスメーカーへの販売を主体に、提案型機能を強化するため、本年7月に「住宅建材部」を設置、一層の取引拡大と住宅建材分野の強化を図ってまいります。

機械・金属カンパニー

1) 特殊鋼事業の拡充

- 特殊鋼事業拡大のため本年6月に切断加工機能を持った「住金物産特殊鋼(株)」を発足させました。これからは更に付加価値向上に努めてまいります。

2) アルミニウム加工事業の強化

- 中国での需要の拡大と高度化する品質要求に応えるため、「東莞住金物産金属制品有限公司」の設備を改造し、当社子会社のメタルサービスセンター(株)との技術提携により、高品位な加工技術を確立するとともに加工能力を大幅に増強し、家電製品向けに加えて、今後は需要が拡大する自動車向けを中心に事業展開を図ってまいります。

繊維カンパニー

1) 中国生産管理センター(CPC)体制の確立

- ・SCM(サプライチェーンマネジメント)の推進並びに生産管理の合理化を目指し、上海に設立しましたCPCは、北京、青島、大連にも拡大し、現在、100人体制での、品質・納期・物流等管理業務の現地化を推進中であります。
- ・天津、青島、上海、香港に完成しました自社系物流ネットワークとも連携し、製造から物流までの一貫管理体制の確立と顧客へのサービス強化を図っております。

2) グリーン物流パートナーシップのモデル事業とICタグ活用による物流合理化を推進

- ・当社の中国における貨物の集約と物流最適化によるCO₂削減事業の提案が、経済産業省から評価をうけ、今年度のグリーン物流パートナーシップのモデル事業として採用され、事業化を推進いたしております。
- ・ICタグを活用した国際物流合理化モデルも、経済産業省事業モデルとして採用されました。

3) 企画提案機能の強化

素材提案から企画・生産・物流までの総合的な提案力を有する新たな「メーカー型商社」を指向し、メンズ分野では本年4月に(株)エスピープランニングを設立、レディス分野ではファッションネット(株)を当社グループのソフトセンターとして活用し、企画生産機能の強化に努めております。

食糧カンパニー

1) 食品安全・開発チーム

厚生労働省の農薬残留食品に対する輸入検査の厳格化に対応するため、食品安全・開発チームでは、生産国においてきめ細かい対応を行い、加工品関連の取扱いを順調に拡大しております。

2) つば八、全メニューの原産地表示

「つば八」の全460店舗では、4月より全メニューの原産地の表示を開始。農林水産省のガイドラインに基づき、食の安全性への対応状況を積極的に開示しております。

10 . 諸数値の推移

連結

	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期
売上高	8,221	8,926	10,298	11,142
営業利益	87	102	153	152
経常利益	60	80	131	140
当期純利益	14	26	38	60

06年9月期
5,734
93
82
47

(単位：億円)

07年3月通期予想
11,500
185
160
85

単体

	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期
売上高	7,393	8,062	9,306	9,953
営業利益	68	78	105	102
経常利益	50	63	93	103
当期純利益	10	17	18	12

06年9月期
5,074
71
69
45

07年3月通期予想
10,200
140
125
70

1株配当金	-	通期3円	通期4円	通期6円
		(中間1.5円)		(中間2円)

中間4円

通期8円
